



070817 山頂への尾根



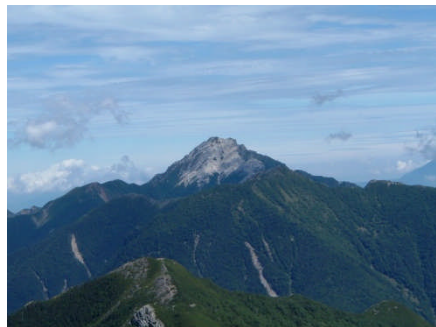
070817 山頂を見上げて (3000mの草原にて)



070817 富士山（中腹より望遠で）



070817 仙丈ヶ岳（山頂にて）



070817 甲斐駒ヶ岳（山頂にて）



鳳凰三山（山頂にて）

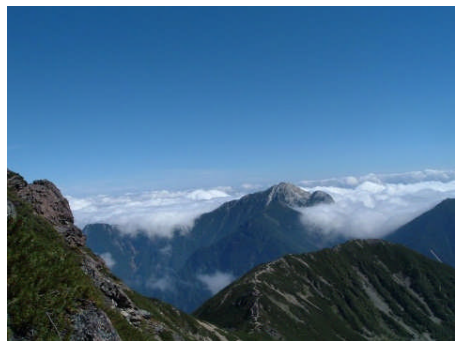


北岳山頂（左）と北岳山荘、間ノ岳

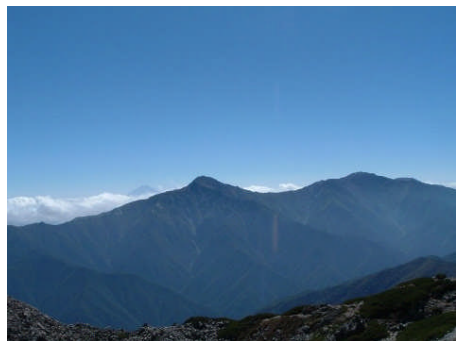
【2007年9月22日 仙丈ヶ岳（3033m）】



070922 甲斐駒ヶ岳（中腹より）



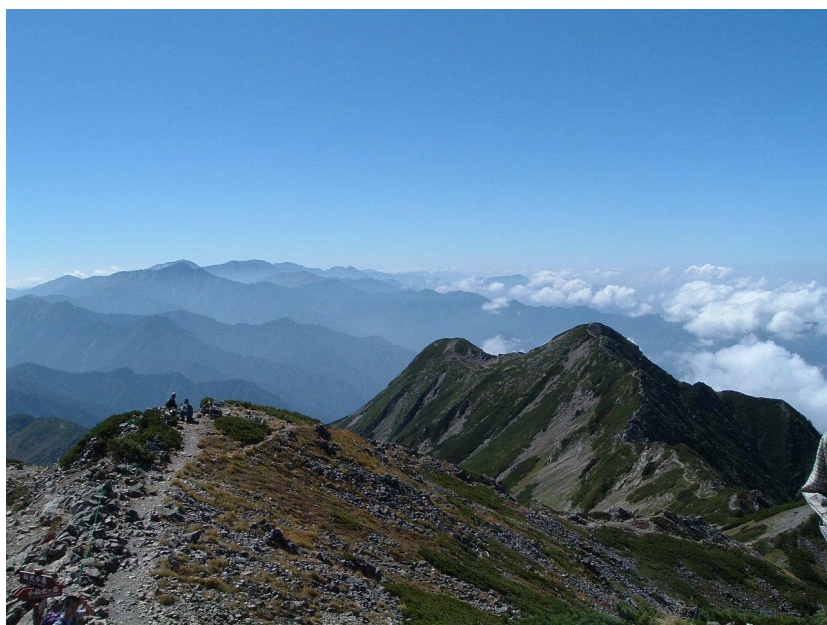
小仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳



富士山、北岳



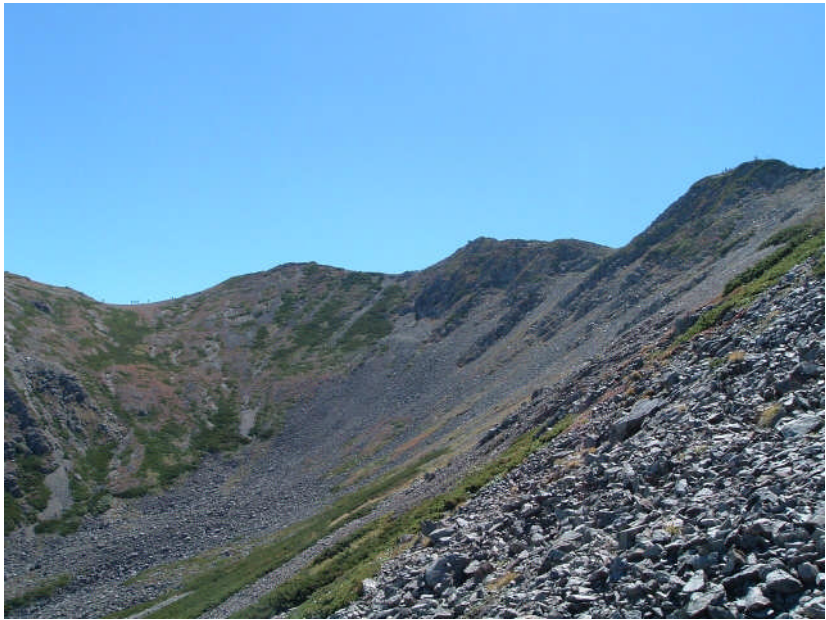
070922 仙丈小屋（山頂へ向かう尾根より）



大仙丈ヶ岳、塩見岳（山頂にて）



070922 甲斐駒（小仙丈を振り返って）



尾根を歩くパーティ（仙丈ヶ岳での大好きな景観）

(容量が大きいため19～54ページ(2008年～2010年分)は
割愛しました。)

(容量が大きいため19～54ページ(2008年～2010年分)は
割愛しました。)

2011年 山登りの報告

—今年の山は利尻岳(1721m)で始まる—

2011年 11月

今年も山のシーズンがやってきました。暑い夏を逃れて涼しい北海道に行こうと昨年より計画をしていた利尻岳に挑戦しました。

早い梅雨明けの関東地区をあとにして、北海道の稚内に直行です。稚内空港に下りた途端、肌寒く感ずるような涼しさの中、まずは車で最北端の「宗谷岬」へ直行です。曇りのため対岸の北方サハリンの島は見えませんが、幸い雨にはならず快適でした。その後稚内市内へ入り、記念館、氷雪の門など観光をして、16時にフェリーで利尻島へ移動。NHKが利尻富士登山の放送をした時に、NHKスタッフを案内した渡辺さんが経営するホテルに宿泊です。

その後8月、9月と計画するたびに、天候に恵まれず延び延びとなった山は、10月3日の日光男体山、10月10日の北岳と続き、両山とも360度のパノラマに恵まれ、最高の登山で今年は終了しました。

以下に登山状況を報告します。

11年7月12日(火) 利尻岳 (1721m)

天候：曇り 登り：5時間30分 下り：3時間

前日フェリーで利尻に向かっていた時から曇りで、天気が心配でしたが、朝3時に起床、外を見ると少し明るく、雨にはなりそうもない天気ではあった。前日ホテルで、携帯トイレ一つ400円を持たされての出発です。ごみはもちろん登山道途中にいくつかトイレブースがあり排泄物も持ち帰りとのこと。また登山道入口には、外部からの種子持ち込み防止用靴底洗いのスノコもあり。

4時00分 車でホテルを出発。登山口まで5分ほど送ってもらい、4時5分登山開始。登山口は標高210mほどで、これから山頂まで標高差1500mほどを登る。

6時25分 7合目(895m)に着く。高木の林をしばらく歩き5合目、6合目を過ぎたあたりから低木領域に入る。雲の切れ間から下界を見ながら、登り始めて約2時間半で7合目に着いた。標高895m。まだまだだと思いつつ、きつかった道を振り返る。7合目の標識板には「胸突き八丁」とかいてある。これからはさらにきつい登りが待っている。

8時25分 9合目(標高1410m)に着く。7合目から急な道を登り8合目、長官登山記念碑では山頂がきれいに見える。足に筋肉痛も出始めるが、避難小屋を通り過ぎて、ようやく9合目に着いた。可憐な花も、ここからたくさん咲いているのが目立つようになった。リシリゲンゲ、ウコンウツギなど初めて見る花も最高でした。素晴らしいお花畑です。

ここから山頂まで、標高差300m。スカイツリーの半分の高さじゃないか。と元気を振り絞って最後の登りに入った。

9時40分 利尻岳山頂(1721m)到達。登り5時間30分でした。9合目からはお花畑の連続です。ガスはかかっているが時々切れる雲の合間から、下界の景色も見ながらの登りでした。天候も下り坂の様子なので少し休憩して下山開始とする。

10時00分 下山開始。 11時30分 7合目に着く。途中横風も強くなり、雲も厚くなりだして霧雨交じりになってきた。13時00分 登山口に到着。下り3時間。下山してから雨が降り出して、これまた幸いでした。

往復8時間30分の工程でした。下山中に顔を虫に刺され、6カ所ほど腫れていて、普通の蚊ではないような腫れでびっくり。標高は低い山ですが、登山口からの標高差は、1500m。3000m級の山と変わらないきつい山でした。14時のフェリーで稚内に戻り、おいしい海の幸の夕食と温泉につかって宿泊です。楽しい思い出となった可憐な花と山の風景を紹介します。

11年10月3日(月) 日光男体山 (2486m)

天候：晴天 登り：3時間40分 下り：2時間30分

前日は、中禅寺湖湖畔の温泉保養所に泊まり、翌朝6時出発。娘同伴です。

6時30分 二荒山神社の登山口を出発。中腹あたりに付く頃には、曇り模様の天気が回復、中禅寺湖もきれいに見えるようになり、山頂での眺めが楽しみになった。

9時30分 8合目到着。ここから9合目に目指す頃から、晴天の中 強風と零度近い気温にさらされ手袋と防寒服を着込みの登山でした。

10時10分 山頂着。快晴です。360度のパノラマです。寒いはずですが、廻りの木々には氷がついて樹氷になっていました。風は少し弱まったものの気温は低く手袋が離せません。紅葉前の中禅寺湖周辺の日々、奥日光、日光白根山、女峰山、日光市街等写真に収めて早々に下山。

10時30分 下山開始。間もなく登ってくる年輩の方と出会い、年齢を聞くと76歳、娘が思わず拍手をして迎える。

13時00分 登山口の二荒山神社境内到着。

登り3時間40分、下り2時間30分 計6時間10分の工程でした。

2年前に登ったときは、5時間でした。年の体力衰えを感じる山登りで、途中の登りでは娘にリードをしてもらっての有様。でもこれにめげずに来週10月10日は北岳挑戦します。初秋の男体山ではすでに花はなく、代えて樹氷の花を紹介します。

11年10月10日(月) 北岳 (3193m)

天候：晴天 登り：5時間35分 下り：3時間15分

南アルプスへ登るときの常宿「南アルプス温泉ロッジ」に前泊して、翌朝5時10分発のバスにのり、広河原へ。広河原から朝焼けの北岳を望んで、登山開始。

6時15分 吊り橋をわたって、スタート。途中大樺沢方面が台風12号の影響で沢が崩れ、橋が流され通行止めの標識。白根御池ルートに入って登り開始。

8時15分 急峻な登りが続いて、ようやく白根御池小屋到着、10分休憩。

8時25分 続いて白根御池横の「草すべり」の急峻な登りを開始。

10 時 30 分 小太郎山分岐点到着。仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳、鳳凰三山、富士山がきれいに見える大パノラマです。夏ならば足元には花がたくさん咲いているはずが、今は枯草ばかり。反面空気は涼しくて快適、秋の爽やかさいっぱいです。11 時 00 分 肩の小屋着。人もまばらで小屋は店じまいの準備を始めている。続いて山頂へ。

11 時 50 分 山頂着です。登り時間 5 時間 35 分でした。4 年前と同様の快晴です。携帯電話も OK だ！家へ山頂到達の連絡をする。360 度のパノラマ写真を存分に撮って下山開始。

12 時 00 分 下山開始。 12 時 20 分 肩の小屋着。 12 時 45 分 小太郎山分岐点着。途中 70 歳の登山者に出会う。今日は山頂越えをして、北岳山荘に宿泊という。

13 時 40 分 白根御池小屋着。登りも下りもきつい「草すべり」ルートでした。10 分休憩して白根御池小屋出発。いつもなら足が痛くなるはずが、先週の男体山で鍛えたおかげで疲労感が少なく、広河原での冷たいビールを思いながら下山。

15 時 15 分 広河原到着。下り 3 時間 15 分でした。400 円の冷たい缶ビールは最高でした。

往復 9 時間の工程でした。2 時間バスに揺られて甲府駅へ。明日は会社と
思いながら特急に乗って新宿へ、そして乗り換えて自宅へ 21 時半着。

明日は年休にしました。

今年の素晴らしい写真「利尻岳」「日光男体山」「北岳」を紹介します。